

一般社団法人

沖縄県公認心理師協会

入会のご案内

予告

旧沖縄県臨床心理士会員の方も全員手続きが必要です！

2019年4月中旬以降ホームページ上から入会手続きが行える
ように準備していますので、今しばらくお待ちください。

■ 入会資格

- 協会の目的に賛同するもの
- 公認心理師または臨床心理士の資格保有者
- 沖縄県に在住のもの

■ 年会費

年会費 5,000円

沖縄県臨床心理士会は

2019年4月より

一般社団法人沖縄県公認心理師協会
になりました

一般社団法人

沖縄県公認心理師協会

入会のご案内

■ 協会の3つの目的

- 国民及び沖縄県民の心の健康の保持増進に寄与
- 「公認心理師」「臨床心理士」の資質と技能の向上
- 会員の権益の保護充実を図る

■ 入会のメリット

- 委員会への参加を通し、会員同士の交流や情報交換の機会が得られます。
- ニュースレター（情報定期便）が配信されます
- 研修会等、自己研鑽の機会が得られます
- 本協会主催の研修会等に参加できます
- 会員専用ページへアクセスできます
- 会員専用ページに掲載される「求人情報」を閲覧できます

各委員会について

沖縄県公認心理師協会では、会員の資質と技能の向上のため、以下のいずれかの委員会に参加していただきます。

専門職としての幅やレパートリーを広げるためにも、2つ以上の委員会を選択してください。

医療保健委員会

精神科病院・心療内科クリニックで活動する方のみならず、HIV、緩和ケア、周産期、糖尿病などの慢性疾患、不妊治療などに関わる心理師も増えています。また、職場での職員に対するメンタルヘルス関連に携わることも増え、多様な動きが求められています。現在、医療保健委員会では、HIVワーキンググループとリエゾン心理師ワーキンググループ及び病院心理士の会を企画運営しています。医療保健領域で働く方や関心のある方はぜひご参加ください。

子どもの育ち支援委員会

主に子どもの発達臨床に携わる会員で構成されています。母子保健領域での相談、保育所等への巡回相談、療育施設における相談、特別支援教育に関する相談、児童精神科等での相談、社会的養護に関する相談などを通して、子どもの育ちを支援しています。また周産期施策の充実に伴い、この時期から親子に携わる会員も増加しています。皆様のご参加をお待ちしています。

産業組織委員会

労働者のメンタルヘルスケアは国の重要課題となり、産業領域で活動する心理師が増えました。平成25年より沖縄県から委託を受け教職員メンタルヘルス研修及び相談事業を展開しています。また、勉強会・情報交換会も定期的実施しています。皆様のご参加をお待ちしています。

各委員会について

学校臨床委員会

スクールカウンセラーなどの教育領域で勤務されている方、学校臨床に興味・関心がある方のご参加をお待ちしております。近年は、いじめ不登校対応のみならず、事件・事故・災害後の緊急支援やいじめ重大事態への対応など、求められる活動が増えています。年に7~10回程度継続研修会を開催し、会員間の交流も活発に行われています。

被害者支援委員会

被害者支援活動は、社会から大きな期待を寄せられる公認心理師の仕事の一つです。本委員会では、様々な場面で被害に遭われた方への支援のあり方を検討したり、その活動のサポートを行います。被害者支援部と災害支援部の二つの部門からなります。

被害者支援部

被害者に対するこころのケアは心理師であればどの職場にいても必ず関わる活動です。活動内容は犯罪や事故後の支援、DV、ハラスメント、いじめ被害などの支援があります。

災害支援部

活動内容は、災害や惨事ストレスなど被災された方々への支援、減災へのシステム作りや研修をしています。災害時は需要と供給に圧倒的な不均衡が生じます。その不均衡を解消するためには、多くの人の力が必要です。災害支援に特別な能力は必要ありません。多くの会員の方に参加していただくことが力となります。皆様のご協力をお待ちしています。

事業促進委員会

沖縄県公認心理師協会の活動を裏で支える委員会です。今年度新たに臨床心理士を取得した方、転入により沖縄での活動が初めての方、公認心理師資格のみの方はぜひご参加ください。研修会の事前準備や当日の運営等細々とした作業が多いのですが、会の運営を通して仲間づくりや情報交換ができることでしょう。